

# 平成26年度 全国学力・学習状況調査

## ～町立小・中学校の結果の概要～

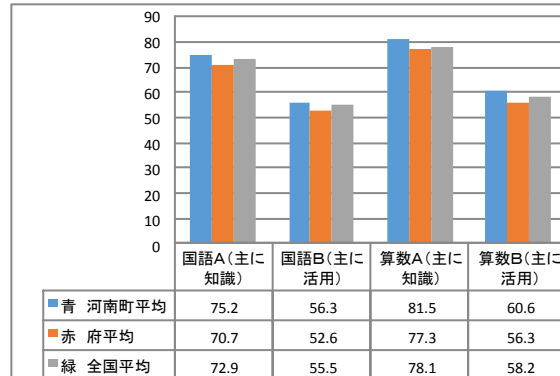
この調査の目的は、府内小学6年生、中学3年生の児童生徒の学力・学習状況を把握し、課題の検証を通して改善に生かすためのものです。

### 1. 調査結果の取り扱いについて

- (1) この調査は、序列化や競争を目的とするものではありません。
- (2) この調査で測定できる学力は、特定の一部分であり、学校の教育活動の一側面です。

### 2. 小・中学校の調査結果の概要

平成26年度全国学力状況調査小学校正答率(%)



#### 【学力に関して】

##### (1) 小学校

傾向は、府・全国と同様に国語・算数ともに学習で習得した知識・技能を活用することに課題が見られました。

教科別では、算数において、主に知識・技能を問うA問題ではよい結果となっています。しかし国語Bの、2つの詩を読み比べ、自分の考えを書く問題や、算数Bの、示された情報を解釈し、基準量の1.5倍を表す図を選択する問題で正答率が低くなっています。

##### (2) 中学校

町内では1校ですので平均正答率の数値は公表しません。

結果概要については、国語A・Bは府平均を数ポイント、数学A・Bは府・全国平均を上回りました。

この結果より、国語の話す・書く・読むことの、基礎的知識とその知識を活用する力の双方に課題がみられます。区分別では、国語B問題において文章の構成や表現の仕方などについて、根拠を明確にして自分の考えを書く問題で正答率が低くなっています。数学においては、「数量関係を数学的に説明する」問題で、低い正答率でした。

**※無回答率は、小学校中学校ともに国語Bで、全国の平均よりも上回りましたが、他の教科や区分では無回答率は、府や全国の平均よりも下回りました。町の児童生徒は、深い思考が求められる問題等にも前向きに取り組む姿勢が見られました。**

#### 【学習状況に関して】

児童・生徒アンケートの結果は府・全国全体概要とほぼ同様の傾向でした。以下に挙げるのは、町として大切にしていきたい点です。

- ・「授業内容がよくわかる」との回答が小学校(国算)で8割以上、中学校(国数)でも8割以上、「勉強が好きだ」との回答が小学校(国算)6割以上、中学校(国数)も6割以上ありました。今後も「勉強が好きだ」「もっとわかりたい」という思いに十分応えていく授業の実現を、学校で継続していく必要があります。
- ・「学校のきまりを守る」との回答が小学校、中学校で9割をこえていて、府・全国平均と比べても上回っています。
- ・「宿題をする」との回答が小・中学校ともに9割以上ですが、「自分で計画を立てて勉強している」との回答が小学校、中学校で5割前後にとどまっています。しかし、中学校は3年続けて数値が上がっており、今後さらに自学自習力の継続が目標です。
- ・「読書が好きである」との回答が小中学校ともに6割を超えていますが、「平日全く読書をしない」との回答が小学校で2割近く、中学校では4割近くありました。しかし、小学校では読書習慣は少しずつ定着しているので、引き続き取組の継続が必要です。

### 3. 課題解決のために

- ・子どもたちの興味関心が高まる魅力ある授業に取り組みます。
- ・自学自習力育成のために、宿題の工夫や具体的なやり方など、学校と家庭が連携して子どもたちへアドバイスしていきます。
- ・授業規律をはじめ、学校生活における規範意識をさらに高めるよう努めます。

※日々の教育活動実施にあたり、今後とも保護者、地域の方々のご理解・ご協力をいただきながら取り組んでまいります。

担当課：河南町教育委員会事務局 教・育部 教育課学校教育係